

富士通テン株式会社 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1-2-28
 Tel:(078)671-5081(代表) Fax:(078)671-5325 http://www.fujitsu-ten.co.jp
 FUJITSU TEN LIMITED 2-28,Gosho-dori 1-Chome,Hyogo-ku,Kobe 652-8510,JAPAN

新商品

2013年5月21日

業界最小クラス「デジタコ搭載 業務用ドライブレコーダー」発売 ～ローコストで「ドラレコ」と「デジタコ」両方の導入が可能～



(左)OBVIOUS レコーダー「G400 シリーズ」デジタコ搭載一体機「DRD-4020」(SDカード別売)

(右)運転日報表示例

富士通テン(株)(本社:兵庫県神戸市 代表取締役社長:重松 崇 資本金:53 億円)は、業務用ドライブレコーダー「OBVIOUSレコーダー^{(*)1}」の「G400 シリーズ」に、デジタルタコグラフ(以下 デジタコ)を搭載した新商品「DRD-4020」を、6 月上旬より発売します。国土交通省よりデジタル式運行記録計(デジタコ)の装置型式指定を取得しております。

新商品は、充実のドライブレコーダー機能に、法定 3 要素(速度、時間、距離)を記録するデジタコ機能を、業界最小クラスのコンパクトサイズに一体化し、限られた車内スペースへの取り付け性を高めました。一体型によるコストメリット(製品代、取付費用等)もあり、小型～大型車両まで幅広いお客様に導入いただける商品です。

運転日報を自動で生成する機能や、高速道路と一般道を自動で切り替えて、走行道に応じて速度超過の警告音声を出す ETC 連携機能^{(*)2}を搭載し、ドライバーの負担軽減を図りました。

ドライブレコーダー機能は、2012年11月に発売した最新モデルと同一仕様で、カメラは最大5台まで接続、映像は最長約200時間まで記録できます。記録した映像データを確認するアプリケーションソフトにおいては、車両前方の距離を映像上に表示する業界初^{(*)3}の「仮想距離表示機能」を搭載している他、スピードの出すぎなどの危険運転や、事故多発地点などの危険エリア走行に対し、音声ガイダンスで注意喚起する機能、記録した映像を地図画面上で検索できる「マップバルーン機能」も搭載し、安全運転指導・教育面に役立つ機能が充実しています。

富士通テンは、安心・安全・環境保全を実現しながら業務効率を高められる製品を今後も開発し、商用車の運行管理に貢献してまいります。

【新商品概要】

商品名	型名	希望小売価格(税込)	発売日
OBVIOUS レコーダー「G400 シリーズ」 デジタコ搭載一体機	DRD-4020	オープン価格	6月上旬
6 ボタン操作機	SPU-110		
ETC 連携ケーブル	ACY-264		

日時	方法
2013年5月21日(火)14:00	資料配布(E-mail、FAX)

【報道関係お問い合わせ先】 富士通テン(株)コーポレートコミュニケーション室 角野、佐柄 Tel(078)682-2170[直通]

【お客様からのお問い合わせ先】富士通テン販売(株)通信営業部 Tel(078)682-2057[直通]

【企画意図】

タコグラフは、交通事故削減のための安全対策のひとつとして、大型トラック等への装着が義務化されています。また、国土交通省では、トラックの安全対策強化に向け、デジタコの装着対象範囲の拡大について議論が進んでおります。

一方、安全運転や燃費向上、エコ運転をサポートする商品として、映像や音声の記録ができるドライブレコーダーも近年普及しており、これら両方を装着されるトラックも増えてきています。

そこで当社は、2つの商品を取り付けるコスト、取り付けスペースの問題を解消するため、業務用として実績のあるドライブレコーダーの機能をそのままに、デジタコ機能も装備した、デジタコ一体型のドライブレコーダー「DRD-4020」を商品化いたしました。

【新商品の主な特長】

1. ドライブレコーダーにデジタコ機能を搭載 **当社初!**

■省スペース

一体型としては業界最小・最軽量クラスです。

■ローコスト

一体型としては価格を抑えました。

2. 従来品からのバージョンアップ機能 **New!**

■運転日報を自動で生成

荷積・荷卸・待機などの運行実績を6ボタン操作器で入力すれば自動で運転日報を生成し、ドライバーの負担を軽減します。

(注)別売りのアプリケーションソフト、6ボタン操作器の接続が必要です。

■ETC連携機能(*2)で高速道／一般道を自動切り替え

高速道路の入口と出口を認識して設定の切り替えを自動で行います。煩わしい操作をせずに速度超過の警告と評価を行います。また、運転日報に通行料金を表示できます。

(注)対象速度は任意で設定が必要です。

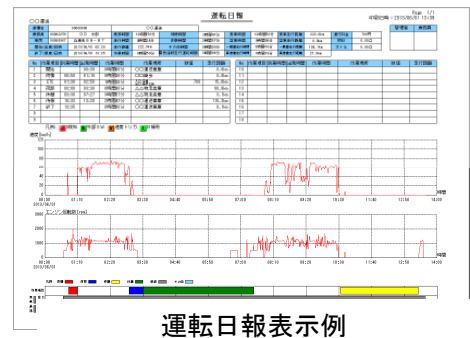
一般有料道などは高速道への切り替わりになります。

料金ゲートが無い場合や正確に判断できなかった場合は、手動切り替えが必要になります。

■帳票出力機能

稼働実績、通行料金明細一覧などの帳票が出力でき、業務管理に役立ちます。

(注)別売りのアプリケーションソフト、6ボタン操作器が必要です。



運転日報表示例

3. 充実のドライブレコーダー機能

<映像記録>

■最大5台のカメラ接続

■最長約200時間の記録

<表示アプリケーションソフト>

■映像に重ねて距離を表示する「仮想距離表示機能」

※パソコン画面で表示

前方車両までのおおよその距離が分かるので、車間距離を確保しているかが確認でき、的確な指導に役立ちます。



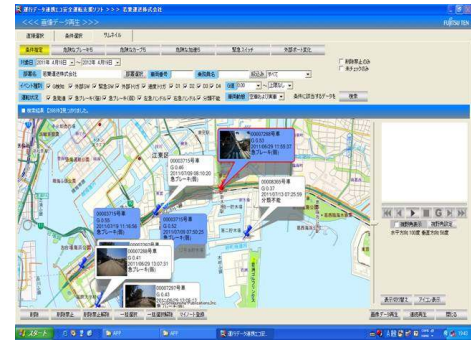
「仮想距離表示機能」

■記録した映像を地図画面上で検索できる「マップバルーン機能」

※パソコン画面で表示

指導に必要な映像をすばやく簡単に見つけられ、管理者様の業務負担を軽減します。

- ・イベント記録映像は、運転状況とG値を表示。場所と運転状況から見たい映像を選択できます。
- ・長時間となる常時記録映像は、走行ルートと時間を表示。場所や時間から見たい映像を選択できます。



「マップバルーン機能」

<危険運転や危険エリアの音声ガイダンス>

■危険運転

スピードの出しすぎや長時間運転などに対し、違反警告と違反となる前に予め警告する事前警告の2段階ガイダンスで、ドライバーに安全運転を促します。

<ガイダンス例>事前:「スピードに注意してください」「そろそろ休憩してはいかがですか」等

違反:「スピードオーバーです」「長時間運転です」「急加速です」「急減速です」等

(注)ガイダンスの対象となる速度は任意で設定が必要です。

■危険エリア

事故の多い交差点など、事前に任意で登録した危険エリアに近づくと、「周囲に注意して走行してください」と音声ガイダンスで注意を喚起します。

【デジタルタコグラフとは】

タコグラフは、自動車の運行状況(速度、時間、距離の法定三要素)を連続的に記録する運行記録用装置です。運行データをメモリーカードなどに記録するデジタル式(デジタルタコグラフ)と、記録紙に針で軌跡をつけて記録するアナログ式があります。メモリーカード等に記録されたデータを解析することで、ドライバーが法定速度、休憩時間などを遵守しているかを確認でき、安全管理に用いることができます。

現在日本では、大型トラック等一部の車両への装着が義務付けられています。

【ドライブレコーダーとは】

車両に設置したカメラで車両周辺や車内の状況を撮影し、映像を記録するものです。事故発生時などに記録した情報を解析することで、事故原因の早期把握をサポートします。記録情報の解析による自己の運転状況の把握や、「記録されている」ことによる安全運転意識の向上などにより、交通事故軽減が期待できます。

さらに、急加減速が減少することで燃費向上も期待でき、近年タクシーやトラックなどの商用車に加え、一般車への普及も進んでいます。

【主な仕様】

<車載機器>

型式指定番号	①TDII-36	
電源	12/24V	
外形寸法	車載機本体	150(W)×25(H)×110(D)mm
	カメラ	23(W)×20(H)×24(D)mm(取付金具含まず)
重量	車載機本体	370g(SDカード含まず)
	カメラ	87g(取付金具含まず)
画像記録(イベント/常時)	○	
記録媒体	SD/SDHC(最大 8GB)	
カメラ接続数	最大 5 台	
カメラ	1/4 インチカラーCMOS(解像度 31 万画素) 画角: 水平 135°/垂直 105°	
音声録音	○	
カードスロット	2	
映像記録フレーム数	最大 30FPS (イベント記録・カメラ 1 台接続・前後計 20 秒記録)	
	最大 10FPS (常時記録・カメラ 1 台接続) ※カメラ 5 台接続時は、最大 10FPS(1 台目)、5FPS(2~5 台目)	
映像記録時間	約 60 時間(10FPS)~200 時間(1FPS) ※カメラ 1 台・8GB カード×2	
	約 38 時間(10+5FPS)~約 115 時間(1+1FPS) ※カメラ 2~5 台・8GB カード×2	
GPS レシーバ	○	
車速パルス取得	○	
エンジン回転パルス取得	○	
汎用入力	4	
汎用出力	1	
EMS(*4)対応	○	

<アプリケーションソフト(別売)>

OBVIOUS ビューアー	○
画像解析ソフト	○
エコ安全運転支援ソフト	○
運転日報作成ソフト	○
デジタコ利用者ソフト	○

【注釈】

(*1) 当社の業務用ドライブレコーダーは、映像と音声などで車両周辺状況や運転状況を記録して事実を明らかにする製品として、「OBVIOUS: 明らかな」という単語を用い「OBVIOUSレコーダー」と名付けています。

(*2) 指定の ETC 車載機が必要です

(*3) 2012 年 9 月現在

(*4) EMS: Eco-drive Management System(エコドライブ管理システム)

トラックなどの運行において、エコドライブを計画的かつ継続的に推進するとともに、その運行状況の指導などを一体的に行う取り組み。

CO₂ 対策の一つとして、平成 17 年度より国の補助事業として EMS 普及事業が進んでおり、エコドライブ支援装置の普及が図られています。